

NK-31 使用説明書

《用途》 不飽和ポリエステル塗料 クリヤータイプ

《使用方法》

NK-31 (コバルトなし)タイプに8% (又は6%、3%) -コバルトと

パーメック-Nを下記添加表に準じ配合してください。

希釈剤はスチレンモノマーを使用し、10～30%の範囲で塗装目的に合わせて粘度調整をした上でご使用ください。

《塗装機》 スプレーガン

《添加表》

1液タイプにて使用する場合

NK-31(コバルトなし)タイプ (100部に対する配合)

塗料温度	8%-コバルト (6%-コバルト) (3%-コバルト)	パーメック N (55%MEKPO)
10℃～	0.6 (0.8) (1.6)	3.0
15℃～	0.6 (0.8) (1.6)	2.0
20℃～	0.5 (0.7) (1.3)	1.5
25℃～	0.5 (0.7) (1.3)	1.2
30℃～	0.4 (0.5) (1.1)	0.7
35℃	0.4 (0.5) (1.1)	0.5

[危険 ; コバルト溶液と過酸化液溶液は絶対に直接混合しないでください]

2液タイプにて使用する場合 (C液:P液=1:1配合)

NK-31 (コバルトなし)タイプ 100部に対する配合)

	コバルト液 (C液)	パーメック液 (P液)
塗料温度	8%-コバルト (6%-コバルト) (3%-コバルト)	パーメック N (55%MEKPO)
10℃～	1.2 (1.6) (3.2)	6.0
15℃～	1.2 (1.6) (3.2)	4.0
20℃～	1.0 (1.4) (2.6)	3.0

25℃～	1.0	(1.4) (2.6)	2.4
30℃～	0.8	(1.0) (2.2)	1.4
35℃	0.8	(1.0) (2.2)	1.0

〔危険；コバルト溶液と過酸化液溶液は絶対に直接混合しないでください〕

《可使時間》

10分～20分（塗料ゲルは希釈なしで10～15分に調整しています）
塗料ゲルはスチレンモノマー添加量により変化します（多いと遅くなります）

《研磨可能時間》

オーバーナイト（乾燥温度 10℃以上で 16 時間以上乾燥）

《塗り重ね時間》

30分～2時間

指触乾燥程度にて、再塗装してください。

表面に研磨材が析出し完全に固化した状態まで乾燥した場合は、必ず研磨を行ってから再塗装してください。

《注意事項》

- ・ 残塗料はそのまま放置しておくで発熱しますので、使用後は必ず水の中で冷却してから廃棄してください。
- ・ 未硬化でポリエステルを研磨した場合、集塵機の中で研磨粉が発火することがありますので、十分注意してください。
- ・ 高湿度時には塗膜の乾燥時間が遅くなりますので注意してください。
- ・ この塗料はラジカル重合性塗料であるため重合禁止作用のある成分が含まれる素地（ヤニ分、染料による着色基材など）は直接塗装することができませんので、ヤニ止めシーラーを塗装してください。
- ・ 塗料ミストの堆積物やそれを多量に集積したものは、暗所においても重合反応によって発熱・発火の危険性がありますので、可燃物との混合を避け、水を張っておくなどの処理を行なってください。
- ・ 塗装、乾燥中も換気を良くし、蒸気、ガス等を吸い込まないようにしてください。
- ・ 取扱中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスク、送気マスク、頭巾、保護メガネ、長袖の作業服、えり巻タオル、保護手袋、前掛け等を着用してください。

その他取り扱い上の注意などについては、製品安全データシート（MSDS）をご参照下さい。

この資料は、私どもの最良と思われるデータによって作成されておりますが、貴社にてご使用の際には、充分ご確認の上ご使用下さいますようお願い申し上げます。

サンユーペイント株式会社